

インターネットの

に答える



今月の回答者

砂原秀樹 + 編集部

【アドバイザー】砂原秀樹
奈良先端科学技術大学院大学
情報科学センター助教授
WIDEプロジェクト・ボードメンバー

このコーナーでは、皆さんから寄せられたインターネットに関する質問や疑問にお答えします。分からないことや疑問はどんなことでもけっこうですので、編集部までお寄せください。メールアドレスは ip-faq@impress.co.jp です。なお、質問へのメールでの回答はできませんのでご了承ください。

今月のヘッドライン

- 1 ITU(国際電気通信連合)って?
- 2 「赤目グレ電」の使い方
- 3 インターネットショッピングの落とし穴

Q

7月号の「インターネットFAX」についての解答にもありましたが、「ITU」というのはどのような団体ですか？ モデムなどの通信系の話を読むと、この名前に出くわすことが多いのですが、いまいよく分かりませんが、この組織について教えてください。(小西作次さん)

A

ITUとは「国際電気通信連合」のことで、「International Telecommunication Union」の略です。1932年、それまでの万国電信連合を再組織し、新たに発足した国際電気通信に関する国際団体です。その後1947年に国際連合の傘下に入り、現在に至ります。ITUは、基本的に電話の世界の標準を決めてきた組織です。これまでにモデムのVシリ

ーズとか、ISDNのIシリーズといった規格を決めてきました。また、同様にFAXの規格もITUの中で決められています。

通常は4年ごとに、ITUの最高意思決定

機関である全権委員会が開催されています。そこでの主な議題は、下部組織(管理理事会)で討議されています。

(編集部)

ITU(国際電気通信連合)の組織図



ITU(国際電気通信連合)って?

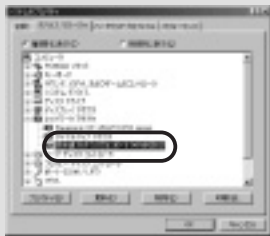
Q

出張でよく利用するホテルに、いわゆる「赤目グレ電」があるのですが、使い方がよく分かりません。なんでも、私のノートパソコン（ウィンドウズ98）の赤外線ポートを使えば64Kbpsや128Kbpsでの通信も可能だとか……。設定方法を教えてください。（笹原隆さん）

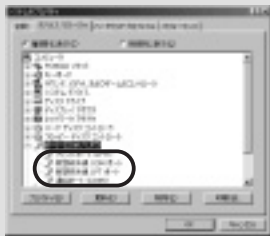
A

「赤目グレ電」とは、赤外線通信インターフェイス付きのISDN公衆電話機のことです。IrDAに準拠した赤外線ポートを搭載するノートパソコンなどがあれば、TAやケーブルがなくてもインターネットに接続することができます。ISDNをアクセスラインに使うことから、通信速度も64Kbps、128Kbps（通信料金は2倍になります）の双方に対応しています。「赤目グレ電」を使ってインターネットにアクセスするのは、自分のコンピュータの赤外線ポートの確認と、モデムの設定を行う必要があります。

赤外線ポートの確認を行う



① まずコンピュータに赤外線ポートがあることを確認する。スタートメニューの「コントロールパネル」から「システム」を開き、「デバイスマネージャ」に「ネットワークアダプタ」として赤外線ドライバーがあることを確認する。



② 同様に「デバイスマネージャ」の「ポート (COM/LPT)」という項目に「仮想赤外線COMポート」と「仮想赤外線LPTポート」が表示されていることを確認する。これらが無いときは、「コントロールパネル」の「赤外線モジュール」の「オプション」の「赤外線通信を利用可能にする」をチェックしておく。

「赤目グレ電」の使い方

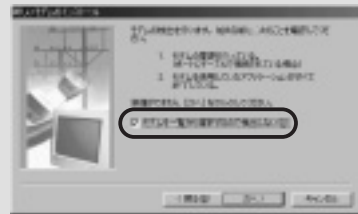
モデムの設定を行う



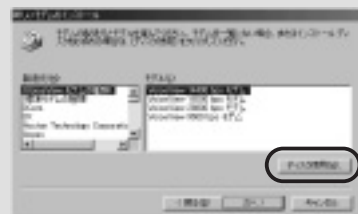
① <http://www.hil.ntt.co.jp/irta/download.html> 上記ウェブサイトからモデム設定ファイルをダウンロードする。



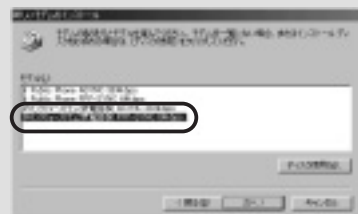
② 「コントロールパネル」の「モデム」の画面で「追加」をクリック。続く画面では「その他」を選択して「次へ」をクリック。



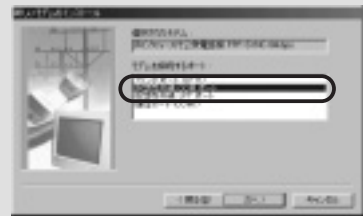
③ 「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックして「次へ」をクリック。



④ 「ディスク使用」をクリックして、ダウンロードしたモデム設定ファイル (mdmntir.inf) の保存場所を指定する。



⑤ 同期接続の場合は「IRインターフェイス付講習電話機PPP-SYNC 64Kbps」を選んで「次へ」をクリック。



⑥ 「モデムを接続するポート」として「仮想赤外線COMポート」を選択して「次へ」をクリック。



⑦ 設定が完了し、モデムとして追加される。最後に、「プロパティ」を選び「接続」タブにある「詳細設定」の項で「フロー制御を使う」のチェックボックスを外しておこう。

インターネットに接続するときは、赤目グレ電と自分のコンピュータの赤外線ポートを近づけて利用します。また、事前に「ダイヤルアップネットワーク」にある接続先の「プロパティ」で「接続の方法」としてIrDA公衆電話機を選択しておきましょう。赤目グレ電にあるデータ通信ボタンを押してからテレホンカードを挿入します。すると、赤目グレ電の液晶画面に「端末からダイヤルしてください」と表示されるので、ここから「ダイヤルアップネットワーク」を使って接続します。（編集部）

「赤目グレ電」の設置場所などの情報はこちら <http://www.payphone.tokyo.ntt.co.jp/>

Q

私は通信販売で買い物をするのが好きなインターネット入門者です。でも、友人から性質の悪い業者があると聞いてからというもの、楽しいはずのショッピングが少し怖くなっています。インターネットでショッピングにはどんな危険が潜んでいるのでしょうか？ また、どんなことに気を付けたらいいのでしょうか？ (神崎さん)

A

僕はあまり「買い物」はしませんが、インターネットでホテルやレンタカーの予約、あるいは、国際会議への参加申し込みなどをする場合、やっぱり同様の不安を感じますね。

基本的には、クレジットカード番号を含むプライベート情報がインターネットショッピングを利用した際に漏れてしまうことが問題なのです。たとえば、使いもしない請求をされたり、プライバシーが侵害されたりする可能性があります。

インターネットショッピングでの危険性は、基本的に以下の3種類のものがあると思います。

- 通信中のデータののぞき見
- サーバー側の安全性
- サーバー側の詐称、あるいは詐欺

最初の問題は、いわゆるデータの暗号化で大部分を避けることができます。つまり、電子メールでクレジットカード番号などを送らなければならない場合には、PGPやS/MIMEなどの暗号化メールを使うべきでしょう。

また、ウェブの場合にはクレジットカード番号を含むプライベートな情報をやり取りする際に暗号化された通信で行われていることを確認するようにしてください。これは、たとえば、ネットスケープナビゲーターやインターネットエクスプローラといったWWWブラウザでは、画面の下(ステータスバー)に鍵がかかった絵が表示されていることを確認すれ

インターネットショッピングの落とし穴

ばいはいはずです。

ところが、やの問題はこれだけでは解決しません。たとえば、サーバーまでは暗号化されて通信が行われても、そのサーバーのセキュリティー管理が甘く、第三者に侵入されてしまえば、そのサーバー内の情報が盗まれてしまう場合があるわけです。

また、サーバー自身は大丈夫でも、それを管理する人のモラルが低ければ、それらの情報をどこかに横流しするなど、トラブルが生じる可能性もあります。まあ、この問題はインターネットに限った話ではなく、一般のお店でもそうですが……(たとえば、怪しいお店でクレジットカードを使ったら、その後まったく知らないところで商品を購入したといった請求がやってくる事故が、しばしばあるようです)

とくに、一般のインターネットショッピングサーバーのフリをして、個人情報を集める詐欺サーバーや、他のサーバーのフリをするサーバーなどもあり、注意が必要です(他のサーバーのフリをする

サーバーについては、技術的に解決する手段が開発されつつあります)

ともかく、怪しげなショッピングサイトは信用しないほうがよいのではないのでしょうか？ 自己防衛を怠っていると判断された場合、クレジットカードの保険もきかないこともあるようですから!! 自己防衛としては、以下に挙げるようなことが考えられるでしょう。

クレジットカードの利用明細をちゃんと確認して、変な請求があったらすぐに確認する。

信頼のおけるショッピングサイトを利用する(大手や信頼のおける情報に基づくサイト)

そして、これらのサイトのサーバーのIPアドレスやそこまでの経路などを時々調べておくこと。

恐怖感を持ちすぎると必然性はありませんが、それなりの対策は立てておいたほうがいいでしょう。

(砂原秀樹)

WWWブラウザの「鍵」に注意!

暗号通信が行われているときは、ブラウザの画面下に「鍵」マークが表示されているので、通信の安全性を気にかける際の目安の1つになるだろう。



インターネットエクスプローラ



ネットスケープナビゲーター

突然サーバーの位置が変わったら注意!

「WsPing」のようなソフトでtracerouteを使えば、サーバーの位置が確認できる。突然サーバーの位置が変わったりした場合には注意が必要かもしれない。画面は「WsPing」





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp